



最近の報道発表 (令和4年4月21日～令和4年5月20日)

<総務課>

4.4.28	令和4年春の褒章（消防関係）	令和4年春の褒章（消防関係）受章者は110名です。褒章別内訳は紅綬褒章6名、黄綬褒章7名、藍綬褒章97名です。
4.4.29	令和4年春の叙勲（消防関係）	令和4年春の叙勲（消防関係）受章者は622名です。勲章別内訳は、瑞宝小綬章35名、旭日双光章5名、瑞宝双光章90名、瑞宝単光章492名です。

<救急企画室>

4.4.22	「令和3年度 救急業務のあり方に関する検討会 報告書」の公表	高齢化の進展や生活様式の変化等を背景として、救急需要が多様化する中、いかにして救急業務を安定的かつ持続的に提供するかは、救急業務における主要な課題となっています。こうした課題に対応するため、令和3年度の救急業務のあり方に関する検討会においては、「救急業務の円滑な実施と質の向上」、「救急車の適正利用の推進」等を目的として、「救急業務におけるメディカルコントロール体制のあり方」、「蘇生ガイドライン改定への対応」、「ICT技術を活用した救急業務の高度化」、「救急安心センター事業（＃7119）の全国展開に向けた検討」の4項目について検討を行いました。 この度、検討結果を報告書として取りまとめましたので公表します。
--------	--------------------------------	---

<危険物保安>

4.5.18	危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）に対する意見公募	次の物質を消防活動阻害物質に指定するため、危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令（平成元年自治省令第2号）を改正するものです。 ・4-メチルベンゼンスルホン酸及びこれを含有する製剤（4-メチルベンゼンスルホン酸5%以下を含有するものを除く。）
--------	---	---

<地域防災室>

4.4.28	消防団員の処遇改善に係る対応状況調査について	消防庁では、全国の市区町村（消防団事務を実施している消防本部、一部事務組合を含む。）を対象に、令和4年4月1日現在の消防団員の処遇改善に係る対応状況調査を行い、とりまとめましたので公表します。
--------	------------------------	--

<国民保護室・国民保護運用室>

4.5.11	令和4年度における国民保護に係る国と地方公共団体の共同訓練の実施	共同訓練とは国、地方公共団体及びその他関係機関の活動要領の確認及び相互の連携強化を図るとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を図ることを目的として行われるものです。 今年度の訓練の実施予定を公表します。
--------	----------------------------------	---



最近の通知 (令和4年4月21日～令和4年5月20日)

発番号	日付	あて先	発信者	標 題
消防消第151号 消防地第333号	令和4年5月18日	各都道府県消防防災主管部長	消防庁消防・救急課長 消防庁国民保護・防災部地域防災室長	消防職団員の安全管理等（熱中症対策）の再徹底について
事務連絡	令和4年5月2日	各都道府県消防防災主管部（局）	消防庁救急企画室	オミクロン株の特性を踏まえた保健・医療提供体制の対策徹底を踏まえた取組状況及び更なる体制強化への対応について
消防危第96号	令和4年4月27日	各都道府県消防防災主管部長 東京消防庁・各指定都市消防長	消防庁危険物保安室長	キューピクル式リチウムイオン蓄電池設備の貯蔵に係る運用について
消防国第83号 消防運第26号	令和4年4月25日	各都道府県防災・国民保護担当部長	消防庁国民保護・防災部 国民保護室長 国民保護運用室長	弾道ミサイルを想定した国と地方公共団体が共同で実施する住民避難訓練の再開等について
事務連絡	令和4年4月21日	各都道府県消防防災主管課 東京消防庁・各指定都市消防本部	消防庁予防課	消防用設備等の設置に係る金融上の措置について（情報提供）

広報テーマ

6 月		7 月	
①熱中症予防についてのお知らせ	救急企画室 危険物保安室 防災課	①火遊び・花火による火災の防止	予防課 特殊災害室 防災課 防災課 地域防災室
②危険物安全週間		②石油コンビナート災害の防止	
③地震に対する日常の備え		③台風に対する備え	
	④全国防災・危機管理トップセミナー		
	⑤住民自らによる災害への備え		